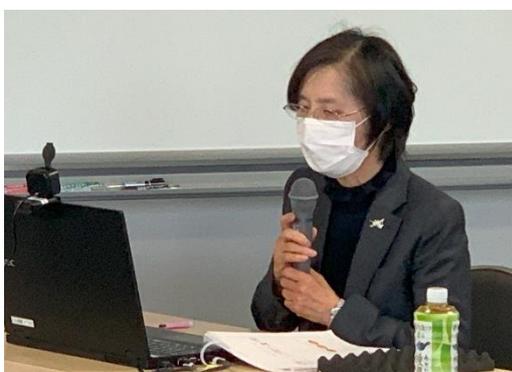


『第1回 適切なケアマネジメント手法に係る研修』に参加して

報告者：ツクイ富山 谷口 公寛

令和6年4月19日（金）「第1回 適切なケアマネジメント手法に係る研修」が開催され、令和6年度より法定研修のカリキュラムに取り入れられる「適切なケアマネジメント手法」と一部改正となった「課題分析標準項目」について、富山県介護支援専門員協会会長 坂東 みゆ紀氏よりご講義いただき、新たな課題分析標準項目と適切なケアマネジメントの関連性やアセスメントシート記載のポイントについて学びました。



講師 坂東 みゆ紀氏

講義を通して「適切なケアマネジメント手法」とは、「どんな支援が必要になると考えられるか、そのために必要な情報は何か、必要な情報はどこから得られるのか、どの専門職が関わっているのか」をまとめたものであり、支援内容に「あたり」を付けることで効果的なアセスメントを実施し、抜け漏れの防止、ばらつきの是正につながるものであると理解しました。

また「課題分析標準項目」についても「適切なケアマネジメント手法」が取り入れられており、より具体的で詳細な情報収集の必要性を感じました。情報収集にあたってはケアチームに対して「何のために、どんな情報が必要か」を予め発信しておくことが重要であり、「適切なケアマネジメント手法」を用いてポイントを押さえることで、多職種間で円滑な情報共有が可能になるものと考えられます。アセスメントやモニタリングの場面で実践につなげられるよう今後も学びを深めていきたいと思えます。



※ この研修は集合とオンラインによるハイブリッドにて開催されました。